

列島縦断短歌スペシャル全国五十選

題「澄む」  
色「色」

◎ 特選

◆安永路子 選

- ◎ 通り雨すぎたる後の渋谷駅透明の傘にうつる空色  
東京都・岡本和子
- 吊り橋を風渡る音水の音木曾路早くも晩秋の色  
愛知県・河原幸夫
- 野鳥惹く色は黄色の色ならん売り場の黄靴ををさな子欲す  
三重県・山縣みさを
- 芋ほりに声あげ吾子のよろこびが澄みゆく秋にこだましてひびく  
富山県・多田康子
- 秋天の大草原に画布たてて思いのままに色重ねたし  
大阪府・熱川英明
- 参道を外れて人目もはばかりし隠沼の水それなりに澄む  
京都府・泉 順子
- ラブレターの言葉やさしく君が説く空気澄みたる秋の教室  
埼玉県・大塚美佳
- 日の射さぬ杉の並木をたどり来て極彩色の社殿あらはる  
神奈川県・郡 ゆう
- 哀しいと泣けぬ女にそだてたる母よいつより澄める秋空  
愛知県・青山みのり
- 君といふ不思議の森へ迷ひ込み青く澄みたる泉に出会ふ  
青森県・木立 徹

◆岡井 隆選

- ◎ さてけつして嫌いではないあなたです今日のわたしは澄んでいますよ  
佐賀県・橋田 露
- 怒りたるわれに無言で眉あげし子の眼差しに蔑みの色  
青森県・小針幸子
- 長い長〜い返信われに書きましたレモン色なす月に濯がれ  
岡山県・光本道子
- 澄む子らと栗の畑で栗拾ふわたくしの棘は左手に在り  
滋賀県・越後千代
- 母からの父からの血の澄みゆけり二世の坂を下りはじめて  
神奈川県・里中和子
- どの犬も黒色となり引かれゆく陰影ふかき秋の日暮るる  
広島県・竹内鏡子
- 膝破れ色落ちしたるジーンズを履ける乙女の紅のペデュキユア  
埼玉県・中門和子
- 心なく研ぎ澄まさるる効率<sup>せうりつ</sup>は魔の刻生<sup>とき</sup>みて魂<sup>たま</sup>を攫<sup>さら</sup>いぬ  
兵庫県・木下英子
- ゆくりなく葡萄棚より舞上がる夕日のなかの金色<sup>こんじき</sup>の蝶  
宮崎県・児玉健二
- 虹をまだ知らぬ吾子なり七色の傘をひろげて探しにゆこう  
東京都・東 恵理

◆尾崎左永子 選

- ◎ クレーンに吊り上げられた鋼材が夕焼色になりて静止す  
神奈川県・若月圭子
- ホーホーと牧人馬を呼ぶ声の餌は澄めり空の夕焼け  
北海道・軽部 進
- わが色に染まる気配の無き妻に眩しきまでの秋の日が射す  
福井県・信谷冬木
- 人生はひと色ならず亡き母のオパール<sup>オパール</sup>の指輪秋の陽にかざす  
京都府・近藤かずみ
- 紅の色<sup>くはな</sup>が日陰を覆いたり日陰すべてを彼岸花占め  
群馬県・門倉まさる
- 看板に未来の都市の色褪せてすすき野にまた秋の巡り来  
東京都・山田京子
- 茄子漬の雨の日の色噛み締めてきしきしきゆつとわが音鳴らす  
東京都・市原 凜
- 潮澄みて手繰る網より伊勢海老の朱をこぼしつづつ舟に近づく  
三重県・廣 鶴雄
- 通勤の電車に人は詰め込まれ都市の雑多な色となりゆく  
埼玉県・大塚雅彦
- 原色の風船空に浮びゆるる飛びゆくこともなくて終日  
熊本県・津田千枝子

## ◆穂村 弘 選

- ◎綾取りの毛糸の色は何だっけモノクロ写真に六歳の吾  
 三日三夜枕辺における我らみな吸い込むほどに澄みて逝く母  
 なぜ遅刻したかと問われ秋の日に白色レグホン美しすぎて  
 金色の日溜りにいる猫の子がぬの字ぬの字に丸まってゆく  
 四人めのひ孫は江戸っ子色男話せるようになったら会おうよ  
 空色のミントゼリーに匙を入れ輪廻転生君は語りぬ  
 真新しい色鉛筆が幸せなドラマの家族みたいに輝く  
 陣痛の十二時間をベッドの枠握りゐし嫁の手の平の色  
 これが最後というよること君の齒の色だけおぼえてる今も  
 夢の中のクラス会では亡き友は青色の服われは赤色
- 大阪府・沼本美佐緒  
 宮城県・大友 浩  
 広島県・宮崎稔子  
 東京都・林 ゆみ  
 大阪府・米田いさを  
 大分県・川野智子  
 神奈川県・中川栄治  
 長野県・佐野恵子  
 香川県・國土圭子  
 福井県・今村有里枝

## ◆高橋睦郎 選

- ◎苦き歌棘ある歌もここに措こう明け方色のサモトラケのニケ  
 口ぐせは「慌てることはない」でした心澄むがに唐突に逝く  
 彼岸花澄むにわたずみよぎりゆく蛇ありふとも使徒のごとしよ  
 向日葵ひまわりは黒い色だとおもうときわたしの胸に石が棲むとき  
 わが体無色透明になりたくてニリツトルの液体を飲む  
 我が色に染まっていた妻ここにきて自分の色に染め直し出す  
 虹色に点滅しつつのぼりゆく恋人達の夜の観覧車  
 アルカリ金属アルカリ土金属焰色反応の色を忘れず  
 幼な児の澄みしまなこの大きくてまばたきすれば涙がぼろり  
 来るたびにシティーボーイになりてゐる澄みし眼まなこの古紙回収業者
- 静岡県・中谷しのぶ  
 北海道・佐々木みどり  
 滋賀県・石田絢子  
 東京都・斉藤美代子  
 高知県・高橋 章  
 長崎県・前田一步  
 東京都・北村宏子  
 神奈川県・石河利昌  
 山形県・古川千恵子  
 北海道・香月千代子

## ★お知らせ☆

**短歌** スペシャル全国五十選は10月21日(土)午後8時から  
情報番号  
 FAX (0570) 006622→音声案内→**111** で取り出せます。

**俳句** スペシャル全国九十九選は10月22日(日)午後8時から  
情報番号  
 FAX (0570) 006622→音声案内→**222** で取り出せます。  
 11月30日(木)まで毎日24時間取り出せます。

また、10月23日(月)午後2時から、NHKのインターネットサイトでも閲覧出来ます。  
**アドレス**：<http://www.nhk.or.jp/bs/>